

令和2年度公益社団法人朝日町シルバー人材センター事業計画

はじめに

日本の総人口に占める65歳以上の高齢者の割合が28%を超えて、国内における65歳以上の高齢者の人口が1千万人を超えております。

この数字から見ると3.5人に1人が高齢者ということになります。

当センター会員の平均年齢が74才となり、年齢構成も75才以上が過半数を占めております。また、新規入会者の平均年齢が70才を超えるようになり、高齢化が顕著となっております。

このような厳しい状況下において、当シルバー人材センターでは、「第2次中期5ヶ年計画」のスタートの年となります。まずは、目標数値に向けて、会員拡大及び就業の場の拡大確保に努めなければなりません。そして、最重要課題である会員の安全就業確保のための環境づくりが必要であります。事業運営における最も重要な項目であるので、その方向性をしっかりととらまえて提供していかなければなりません。

また、高年齢により就業は望まない会員やシルバー事業を通して社会参加、地域活動へ参加する希望者及び新規の入会希望者のための新たな入会制度を実施します。

令和2年度も、会員・役職員が一体となって、行政や関係機関と連携を強め公益法人として町民から信頼され、魅力あるシルバー人材センターを目指して事業を進めてまいります。

事業実施計画

1 目標値の設定（第2次中期5ヶ年計画数値）

(1) 会員数（全シ連が定める増加率3.9%）	148人
(2) 契約金額（請負・派遣・有料）	57,900千円
(3) 就業率	95%

2 高齢者就業機会確保事業の推進

事業所及び公共機関等への情報収集を行い就業機会の確保に努めます。

この就業拡大と会員拡大は、車の両輪と同じでどちらが欠けても目標は達成できないので、しっかりと取組みたいと思います。

(1) 高齢者活用・現役世代サポート事業の拡充

介護者の送迎車両運転や発注者の指示命令を受ける業務依頼が増えていきます。また、会員の資格取得者を活用するための情報収集に努め、就業を確保したいと思います。

- (2) 「家事生活援助サービス」及び「介護保険者の家事支援」の充実を図るため高齢者会員の就業確保に努めます。
- (3) 民間事業所等の長期就業につながる年間契約受注を確保できるよう努めます。

3 会員の拡大

- (1) 初年度会費の免除制度の成果があることから、今年度は、この情報を前面に打ち出して、いろんな機会にPRしながら入会促進を図ります。
- (2) センターの広報誌、町広報誌、新聞の折込みチラシ及びにホームページによる、独自事業等仕事以外の魅力ある活動のPRに努めます。
- (3) ボランティアサークル団体及びサロン「アイリス」を利用する趣味の会等働く以外で社会参加をする新たな入会制度を呼び掛けます。
- (4) 新たな就業情報をチラシ等で詳細に記載して会員募集を図ります。特に、求人情報を含めて行います。
- (5) 退会者抑制のための新たな入会制度「いきいき会員」を呼びかけます。
また、高齢者には身体に負担のかからない軽度の就業を紹介するため、その就業拡大とその確保に努めます。
- (5) 会員の社会活動促進として、町や各種団体のイベント及びボランティア活動への参加を呼びかけ、町民に対するシルバー人材センターのイメージチェンジを図ります。

4 安全・適正就業の推進

シルバー人材センターの事業において最も重要視されるのが安全就業です。いかにして事故発生件数を0にする環境を提供するかが課題です。

令和1年度の傷害事故は蜂刺されが1件、賠償事故が3件です。特に、前年度0件の飛び石の事故が2件。そして、剪定に係る事故が1件発生しております。

安全対策に対する自己意識を向上するために、いろいろな情報を提供しあえる機会を利用して、徹底的に周知するよう努めます。

作業現場の安全パトロールについては、引き続き注意喚起に努めます。

次に、適正就業については、「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」の遵守を徹底するため、会員及び役員はもちろんのこと仕事の依頼者に対し引き続き啓蒙に努めます。

5 独自事業の推進

高齢者会員の受け皿としてもこの事業を継続するよう関係機関及び会員等に働きかけます。また、働くこと以外にも仲間づくりや社会参加に生きがいを求める場を提供していきたいと思えます。

(1) 買い物支援移動販売事業

平成26年度に3地区2町内でスタートし、現在、4地区8町内を対象に週に1回移動販売をしております。また、食料品以外の日用品も徐々に注文依頼が来ております。

天候や季節にあった商品など、お客さまのニーズに答えるよう努めております。

(2) 認知症カフェ事業<オレンジカフェほっとあいらす>

開設6年目を迎えます。毎月1回の開催に20数名の参加者があります。

サポート役の就業会員及び指導者は、現状に満足することなく、他の施設も参考にしながら、充実した内容及び参加者への対応を向上するよう努めております。

(3) 軽度生活援助事業

介護福祉サービスの家事支援は、今後ニーズが増えると思うので、常時対応ができるように努めたいと思います。

(4) 「生きいき農園」の生産管理

会員が栽培した葉物・根物野菜などの季節野菜を当センターにて安価で販売しています。また、他の会員にも畑作業の共同作業を呼びかけます。

(5) ふれあいサロン<アイリス>の開放

各種団体及びサークル活動等の拠点として、地域住民及び会員の触れ合いの場所として無償利用されております。また、認知症カフェ等受託事業及び独自事業もこの場所で開催しております。

(6) その他の事業

① 古本の貸出し。

サロン<アイリス>前のフロアを利用し、古本の無料貸出しをしています。

② 女性会員の集い

女性会員を対象に交流と情報交換を兼ねて、楽しい憩いの場として昼食会を年1回開催しております。

③ 正月用の門松造り

日頃お世話になった事業主、町の西の市でも安価で販売しました。

④ 刃物研ぎ

使い慣れた包丁、ナタ、布鋏、剪定鋏等の研磨をしています。他市町からのイベント開催時のブース出店依頼もあり非常に喜ばれています。

⑤ 芋煮会

「生きいき農園」で収穫した里芋や野菜をふんだんに使い、会員はもちろん地域住民にも食べて楽しんでいただきました。

⑥ 健康麻雀大会

職群が違う会員交流の場として「賭けない、吸わない、飲まない」をモットーに2月に大会を開催しています。

⑦ 会員主催のサークル等

会員が主体となって開催するサークル、教室、ボランティア等への参加を呼び掛けます。

(ア) 花工房 yayoi

(イ) 紙バンド

(ウ) お楽しみ書道教室

(エ) 太極拳教室

(オ) 地域包括支援ボランティアサークル

(カ) あさひガイドグループ

(キ) 布ぞうり編み教室

6 財政基盤の確立

契約実績を伸ばして自主財源の確保に努めるとともに、センター運営に最も必要な補助金については、行政への要望を継続し、財政基盤の安定を図ります。

(1) 事務局体制の充実

現在の5人体制が継続できるよう安定した体制づくりを目指します。

職員が全ての事業運営に適応できるよう、いろいろな観点から物事を考え判断できるよう職員の資質向上を図ります。

(2) 事業内容及び経常経費の見直し及び改善を検討します。

(3) 理事会、部会、委員会組織の充実に努めます。